

コープさがは来年4月からの消費増税の凍結を求めます!

《増税に反対する理由》

「逆進性」により格差と貧困を広げるからです!

…食料品などの軽減税率や低所得者への給付付税額控除などの対策も決まっています。

将来の社会保障と税のあり方の一体改革議論を置き去りにした増税だからです!

…まず安心して暮らせる将来像が示されて、そのための財源がどれくらいで、どんな負担のし方が良いかを国民が納得していません。



消費税の「逆進性」って?

低所得者ほど収入の多くが消費に回るため消費税の負担が多く、高額所得者ほど負担が少なくなる。増税すればさらに格差が増えます。税負担の公平性(応能負担の原則)からみて問題があります

きりとり

内閣総理大臣 安倍晋三殿

私は消費税増税に反対です!
実施を凍結してください!

私の意見

- 住所 県 市・町・村
- 氏名 ※匿名希望
- 性別 男・女 ■年代 代
- 取り扱い団体



私たちの声を
ハガキに書いて
国会へ届けましょう!

ハガキは切り取って配達担当者かお店のサービスカウンターへ提出してください
(締切 8月31日まで)

■お問い合わせ先

コープさが生協 総務部組織企画グループ
電話 0952-31-3397 担当 牧まで

コープさがは来年4月からの 消費税増税の凍結を求めます!

- ・経済の低迷と貧困の増加、少子化と急速な高齢化の中で、社会保障費(とりわけ年金と医療費)の増加は日本の財政赤字を増大させる要因となっています。
- ・30年後に3人に1人が65歳以上となる予測に備えて、社会保障制度とそれを支える財政の在り方の国民的合意は先送り出来ない重要な問題です。
- ・現在の税制の在り方は、所得税の累進課税と法人税を減らし、消費税を上げる流れとなっていますが、一方で年収400万以下が6割に達し年々多くの国民の所得は下がり続け、生活は苦しくなっています。
- ・政府は景気の影響を受けやすい所得税と法人税から消費税へシフトして安定的な税収を得たいという狙いがありますが、低所得者が増える中、消費税の持つ「逆進性」(収入が少ない人ほど消費に回る割合が増え税負担が多くなること)によって格差社会を広げるといった問題点が指摘されます。
- ・そもそも消費税の増税でのみ社会保障の財源をたよることには無理があり、十分とは言えず、別の財源として使われる可能性もあります。
- ・「応能負担」の原則に立ち、高所得者、法人税の引き上げなどを考えるべきで、同時に、税金の無駄遣いをなくしていくことも重要です。
- ・消費税について考えることは、将来の社会保障のあり方を考えることです。制度のことは難しい、政府が考えることにせず、一人一人が意見を持ち、政治を動かすことが大切です。

来年4月から予定されている消費税の8%への引き上げは、今年の10月までに政府が経済動向を勘案して実施の凍結も含めて判断される予定です。

コープさが生協は、先の通常総代会で、増税だけが先行し将来の社会保障と税制の議論が置き去りにされ、消費者に負担を強いる消費税増税の動きに反対の運動方針を表明しました。

実施の凍結に賛同される方は、下記の手紙でメッセージを政府へ届けましょう。

郵便はがき

1 0 0 - 0 0 1 4

切手を貼らずに生協へ提出下さい

内閣総理大臣
安倍晋三殿

東京都千代田区永田町2-3-1